

定数9名で若手・女性議員増に

政策の多様化と充実へ挑戦



▲小野田議長と石田副議長のもと、新たな体制で議論の活性化や多様な政策提言を目指します

1月23日開催の第1回町議会臨時会で議長選挙のほか、常任委員の選出等を行い、1月29日開催の第2回町議会臨時会で副町長の任命を行いました。



ながさわ ゆうこ
長澤 裕子 議員
川西 (55歳)

議員になったきっかけは

身近な困りごとや不安の声を見聞きし、何かできないかと思い。

どのような活動をしていくのか

日々の声を受け止め、町のしくみへつなぎ、見えにくい声も大切に。

自己紹介

和寒町に住み10年。ひだまりで働きながら彫刻制作を生業とし、地域活動や教育にも関わっています。話を聞くことを大切にしています。



さいとう ゆうき
齊藤 祐揮 議員
三笠 (34歳)

議員になったきっかけは

若年層のリアルな意見を議会に町に届けたいという思い。

どのような活動をしていくのか

『誰かが』ではなく『誰もが』住みやすい町づくりのため尽力します。

自己紹介

34年間、和寒町で暮らし、バイシクルショップサイトウで自転車とストリートアパレルを販売しています。お気軽にご意見をお聞かせください。

1月12日に告示された町議会議員補欠選挙(欠員2名)で、2名が無投票当選しました。

補欠選挙で新たな顔ぶれ

※長澤議員は通称を使用し議会活動を行います

就任あいさつ

議長 小野田 久美子



この度の町長選挙では、前議長の中原浩一氏が当選し、議会議員補欠選挙では2名が当選されました。議員定数9名に対して50歳代以下の議員が7名となり、若返りました。

物価高騰、人口減少、子育て、農業・商工業などの課題が山積していますが、議会議員がお互いを尊重し、協調し、研鑽を重ね、議員一丸となって課題・問題解決に向けて一生懸命努めます。

町民のみなさまの福祉の向上のために、令和の時代にあつた風通しの良い、信頼される議会を目指します。

1/23 第1回 町議会臨時会

議長選挙

○議長選挙の結果(投票数9票)

小野田 久美子 8票
白票 1票

消防事務組合議会議員選挙

土別地方消防事務組合議会の補欠選挙は、池澤議員の指名推薦により小野田議長が当選しました。

1/29 第2回 町議会臨時会

副町長の任命

辻博幸副町長の任期満了に伴い、後任に加藤総務課長を任命することに同意しました。



かとう しんいち 加藤 真一 副町長

委員会構成が変わりました

総務経済常任委員会

委員長 窪田裕二
副委員長 村岡敏一
委員 石田利美、酒向勤、池澤哲也、遠山優太、長澤裕子

議会運営委員会

委員長 酒向勤
副委員長 池澤哲也、石田利美、窪田裕二

議会広報委員会

委員長 遠山優太
副委員長 斉藤祐揮、村岡敏一、池澤哲也、長澤裕子

議会活性化等特別委員会

委員長 池澤哲也
副委員長 遠山優太

議会選出監査委員

村岡敏一

(変更箇所は太字)

退任あいさつ

前議長 中原浩一



一身上の都合で12月16日をもって議員を辞職します。

平成15年に初当選させていただき、和寒町の農業、そして未来を良くしたいと活動した日々が思い出されます。

22年間、議員活動を続けてこられたのも、同僚議員、職員の皆様方に支えられてきたからです。

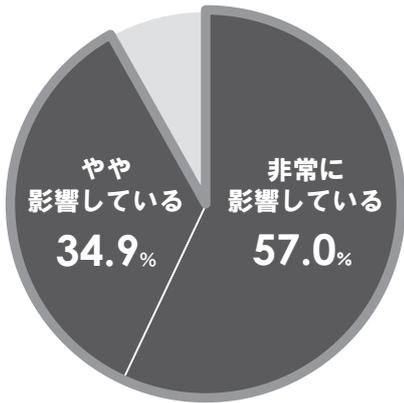
今後も地方自治を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、和寒町の発展と町民の生活、福祉の向上に邁進され、和寒町がこれからも良くなる状況にしていただければと思っております。

物価高の影響が大きい子育て世帯へ

応援手当支給

12月 定例会

Q. 最近の物価上昇は、あなたの家計にどの程度影響していますか？



子育て世帯の**91.9%**が物価上昇が家計に「影響している」と回答

出典：ライフネット生命調べ※



▲物価が上がる中、家計への支援は本当に助かります
迅速な対応で、町には感謝の気持ちでいっぱいです
加藤 大さんご家族（三笠）

第4回定例会を12月15日に開催しました。
行政報告のあと、1名の議員が一般質問し条例改正
や補正予算等の審議を行い、全て原案のとおり可決
しました。

子ども一人へ 2万円

子育て応援手当 (700万円)

国の施策により、物価高の負担感が特に大きい子育て世帯への負担軽減を図る応援手当を支給します。

平成19年4月2日から令和8年3月31日生まれの方が対象で、支給額は一人につき2万円です。

総合体育館・木質バイオマス施設の指定管理者の指定

令和8年4月1日から5年間、和寒町スポーツ協会が総合体育館ほか6施設（農村環境改善センター、総合運動公園屋外体育施設、B&G海洋センター、研修館楡、片栗庵、ふれあいのもり）、和寒環境整備事業協同組合が木質バイオマス燃料製造施設の指定管理者に指定されました。

有害鳥獣捕獲

(150万円)

エゾシカの捕獲が増えているため、捕獲奨励補助50頭分（1頭3万円×50頭＝150万円）を増額します。

Q 物価高の影響による補助額見直しの考えは。

A 猟友会からは燃料費、弾代ともに値上がりしているとのこと。

本町の補助額は管内の他自治体と比較しても非常に高い金額となっているが、今後猟友会とも相談し考える。



▲農作物・生態系保護のため効果的な駆除を

※出典：ライフネット生命調べ『子育て世帯における物価上昇と食費に関するアンケート調査』（2025年8月19日公表）誌面の都合上、再構成・再デザインしています。原典はこちらを参照ください。

これの大樹祝金

令和6年3月定例会で条例改正し、喜寿（77歳）のお祝いを商品券に変更しましたが、条文中表記が「祝金」のままだったため「祝金等」に改めます。

Q 町民からは金額や贈呈方法に疑問の声も多く、条文に「和寒町商業振興協同組合発行の商品券」と規定され使いづらくしており、見直すべきではないか。

A 町政懇談会等で贈呈の仕方自体に「町としての心が見えない」と伺ったので、今後見直す。町では「和寒町商業振興協同組合発行の商品券」以外に取り組んだ経過がないため、すぐに変更するのは難しい。

討論

反対 討論なし

賛成



酒向議員

77歳は元気な方がたくさんいて、本町の将来の発展の一助と

なるよう町内でお金を還流していただき、巡り巡って祝金等に充てられると思います。賛成する。

人権擁護委員

人権擁護委員の候補者の推薦で、池田尊侯氏（西町）が適任者と決定しました。（任期3年）

意見書

食料・農業・農村政策確立に関する予算の拡充等を求める意見書

提出者 村岡 敏一

意見書は可決し、関係行政省庁へ提出しました。詳細はホームページをご覧ください。



令和7年度 補正予算一覧表（1万円未満切捨て表記）

一般会計	補正額	補正後の額
	2,601万円	51億1,462万円
議会費	8万円	議員期末手当
総務費	△52万円	簡易郵便局事務取扱員報酬ほか
民生費	1,035万円	物価高対応子育て応援手当ほか
衛生費	△927万円	国保特別会計診療施設勘定繰出金ほか
農林業費	1,920万円	土地改良区決済金等支援事業補助ほか
消防費	364万円	職員給料・職員各種手当ほか
教育費	52万円	会計年度任用職員報酬ほか
給与費	200万円	職員給料・職員各種手当ほか
国保		
保険事業勘定	918万円	5億3,388万円 子ども・子育て支援金制度対応システム改修業務委託ほか
診療施設勘定	266万円	2億4,673万円 職員給料・職員各種手当ほか
後期高齢者医療	870万円	8,490万円 保険料等負担金ほか
介護		
保険事業勘定	380万円	5億8,355万円 介護予防・生活支援サービス事業費ほか
サービス事業勘定	77万円	2億4,872万円 職員給料・職員各種手当ほか
簡易水道事業	45万円	1億6,250万円 職員給料・職員各種手当ほか
下水道事業	26万円	1億6,685万円 職員給料・職員各種手当ほか

今回の表紙

今回の表紙は三笠在住、農業を営む太田和成さんのキャベツ収穫作業の様子です。

作付面積は2ヘクタールで、昨年の10月下旬からほぼ毎日キャベツの収穫や選果・出荷作業が続くと話す和成さん。作業は妻の利早さんと、両親の4人で行なわれていきます。

「昨年の12月は雪が少なく、凍結の心配もありましたが、無事に凍結することがなく、良い品質を保つことが出来てほっとしています」とお話ししてくださいました。出荷は2月末頃まで続くとのことでした。

